ご協力ください2月末賃金調査に

賃金調査を4月25日まで取

調査用紙の

記 の Q R コ ない方は下 り組んでいます。

セスしてく

東京都新宿区北新宿1-8-16 東京土建一般労働組合 電話03(5332)3971(代表)

FAX 03 (5332) 3972 発行人・編集人 三木

印刷部数1万2700部

(年間購読料 千八百円) かに含まれています) 、購読料は組合費のな 五十円

昨年、本・支部へ寄せられた不払い相談は 叫めなくてよかった 筋の中村さん(口

264件です。その特徴は不透明で書面に よらない口約束の契約で、後に双方の主張 中村さんが取締役を務める

支部の中村奈奈恵さんに話を聞きました。 案を、先ごろ組合とともに解決した、日野 が食い違うというもの。こうした不払い事

ダーとも取引がありました。 とのパワービルダーが不払い 場があるとブリックベースに

有限会社ブリックベースでは 個人の仕事の他にパワービル

事案を発生させました。

http://www.tokyo-doken.or.jp/

ルダーの監督からこういう現 仕事の発注の流れは、①ビ ビルダーから届くが、事前に

スがビルダーに見積書を送 連絡が入る、②ブリックベー 監督とブリックベースの社員 で金額を取り決める、④注文

る、③現場ごとにビルダーの

が記載、⑤工事完了後、ビル ダーから工事残金分の発注書

日野支部の役員がブリックベ かと考えていたところ、一昨 の未払いが残っていました。 収したものの、200万円余 置される。この状況が201 が送られるのを待つが届かな ビルダーに抗議し、一部を回 4年から2年間続いたので、 い、⑥結果、未払いのまま放 何とか残額を回収できない

> と都連の援助も得て、1年間 かけて交渉し、この度、証拠 合で相談できると知り、 が提示できた分、85万円余の 本部

—スを訪問。 不払い事案も組 守る ため

もあり、自分たちだけでは何

い。誰かが自分 とには戻らな ■「自分はも

まで引き伸ばされたもの

支払いを約束させました。 従事者の地 中村さんは23年間外構一筋 いがあれば組合へ相談してほんばっても回収できない不払でいます。また他の人も、が 代金を受け取ることが、これ 談して解決できたことを喜ん もできなかったと、組合へ相 しいと話してくれました。 きちんとした仕事で公正な

行って交渉しても放置され、 で働いてきました。18年前に けてくれるとは思ってもいま きましたが、不払い相談も受 社会保険などの面で活用して で組合加入しました。組合は 独立し、ブリックベースを設 にお願いしようと、日野支部 したとき、保険は東京土建 中村さんは、今では図面を描 ことが仕事のやりがいです」 くことが多いのですが、 りにお客さんが喜んでくれる ん。長い間、現場へ出ていた 位を守ることになると中村さ からの建設従事者の社会的地

思い描いた通りの仕上が イメージをお客さんに伝

顔をみせてくれました。

者が抱く放射能への不安が 供も打ち切る。しかし、避難 域からの避難者への住宅提 村、飯館村の旧避難指示区 馬市、川俣町、川内村、葛尾 家賃支援も打ち切り、南相 ち切りに続き、今月末には

「拡大は努力」と土支田 国保で対話 加藤さん(左から3人目)を訪問 した土支田分会の仲間と担当書記 り組み、全 開始した春 により、3 支部の奮闘 2874 2.5% は、組織の で1833 一番拡大 徴です。個人の加入動機は十 %から35%に増加したのが特 ので、個人の加入は1月の20 がほとんどを占めています。 建国保、労働保険の制度利用 65%が事業所の入社によるも 時の対話の切り口にしようと **春一番拡大のポイントを制度** オリジナルのチラシを作成し このような状況をふまえて、 一容の周知と位置付け、訪問 練馬支部の2月の加入は約 ました。オリジナルのチラシ 料請求のあったK工業を訪ね を先頭に早速行動へ。まず資 振失

練馬

ローガンは「拡大は努力!努 来ますと話しておきました」 と分会六役で行ないました。 と杉浦分会長。分会の拡大ス しい拡大グッズを持ってまた 4月の春の月間本番では、新 」。そのままの土支田分 活動ぶりです。

被害を「可視化」しよう。

に踊らされず、語り継いで

語った。根拠のない「復興」 い。伝わっていない」とも 現状が「何も知られていな



到達してい

間が集まり、杉浦利定分会長 支田分会センターに8人の仲 3月1日の行動日には、

できました。その後、3件を あいの中にも活動の仕方には 性たちが用意した手料理には をする中で4月に新入社員が 戻りました。センターでは女 などを渡しながら、社長と話 しを伸ばしながら、和気あい 人るという情報を得ることが 「注文」がつきます。 「今日の行動は2群と3群 、対話をしてセンターに

> 域外避難者への住宅提供打 とを追われたままだが、福 スカッションでの発言だ。 事故のこと」のパネルディ ウム、「どう伝える?原発 が語った。今月9日、国際 福島県富岡町で東電福島第 在も福島県の避難者だけで panが主催したシンポジ 環境NGOのF oE J a **島県は2017年3月の区** 4万人以上の人々がふるさ 原発事故に遭遇した女性 ■原発事故から8年、現 のようになって

ら当事者である被害者を支 先の富岡町の女性は福島の 害が風化させられている。 提案されるくらい、事故被 を農地の造成や自動車道の いくことを訴えた。除染土 え、ともにまわりに話して 満田夏花さんが市民の側か かを考えた。主催者の一人、 きにどうしたら対抗できる 害を「見えない化」する動 解消されたわけではない。 証事業」がためらいもなく 拡幅に使用するなどの「実 ■シンポジウムでは、被